

主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会
磐田市市民活動センターのっぽ

令和5年度

第3回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

まちづくりに対する幅広い世代の率直な意見や考えを聴ける場として、（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会と磐田市市民活動センターのっぽが主催となって、第3回いわたまちづくりワークショップを開催しました。

第3回は、磐田市小規模多機能自治の取組について自治デザイン課からの情報提供にはじまり、参加者には「条例の名称」、「条例を広げるために必要なこと（パブリックコメントを有効にするために必要なこと）」、「（仮称）協働のまちづくり基本委員会を有効なものにするために必要なこと」を話し合っていました。

開催日時：令和5年9月2日（土）13時30分～16時30分

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ 2階ふれあい交流室

参加者：17名（うち男性9名・女性8名）

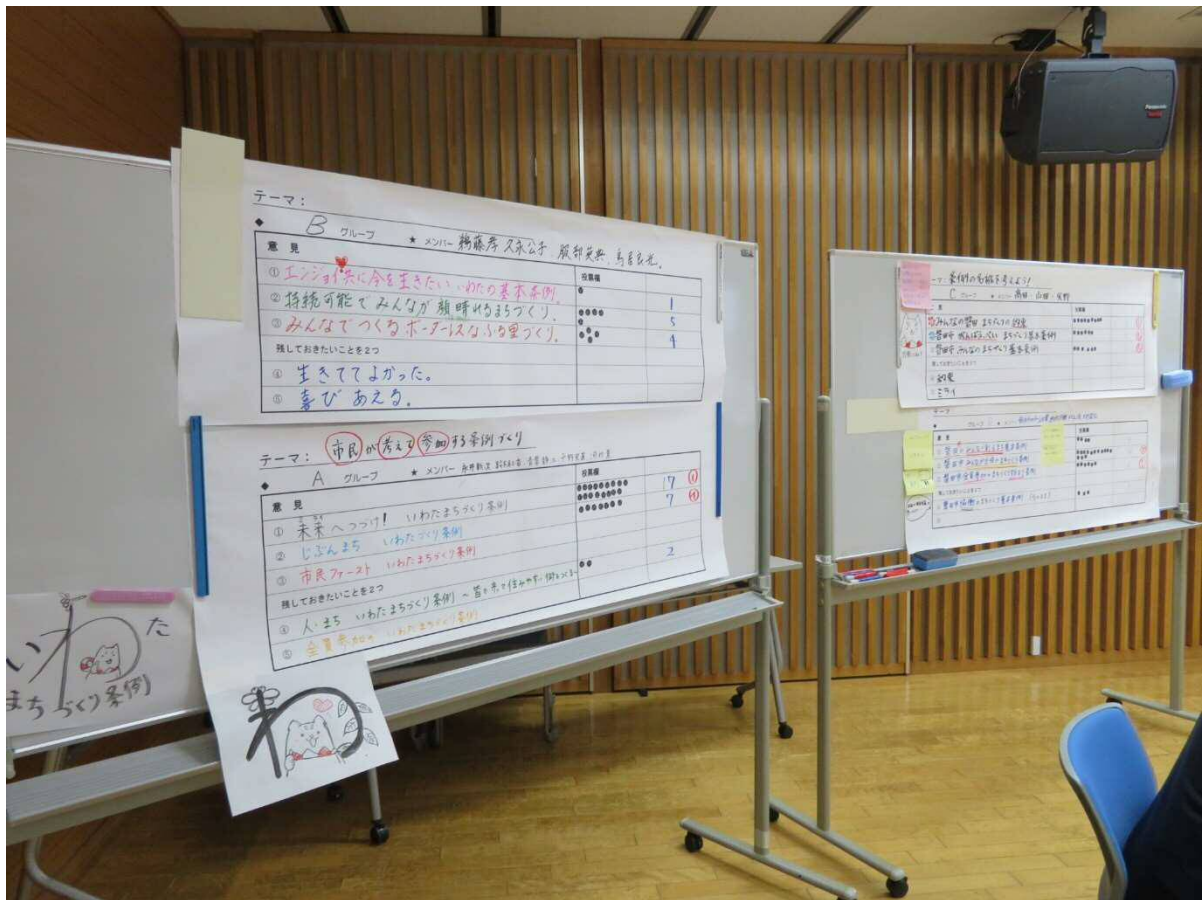
昨年度の参加者のうち本年度も参加を希望された方
及び団体等からの推薦を受けた方

2 ワークショップの流れ

- 参加者を4グループ（1グループ5名）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（Musubi 代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 前回（第2回）の振り返り
- 自治デザイン課からの情報提供「磐田市小規模多機能自治の取組」
- 対話「条例の名称」
- 発表、投票
- 対話「条例を広げるために必要なこと（パブリックコメントを有効にするために必要なこと）」
- 発表
- 対話「（仮称）協働のまちづくり基本委員会を有効なものにするために必要なこと」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子







4 今後について

昨年度と本年度のいわたまちづくりワークショップにおきまして、参加者には条例のことや市民ファシリテーターのことなどを学んでいただきながら、市民の役割や市の役割、条例の前文に入りたい言葉や条例の名称などについて話し合っていました。まちづくりにはこの対話の積み重ねがとても大切なことであると感じていただけたのではないかと思います。

条例改正までの今後の予定につきましては、ワークショップでの意見を参考に10月の条例策定検討委員会において条例案を見直し、12月にパブリックコメント（市民の意見）を募集、1月と3月の条例策定検討委員会において最終案をとりまとめていく予定です。

まちづくりの主役は市民、私たち自身です。今回をもって条例策定検討委員会が主催するワークショップは終わりとなりますが、引き続き市民活動センターをはじめ、市民ファシリテーターの皆さんと共に、対話の場づくりをしていきたいと考えております。

事務局：磐田市自治デザイン課